

感染症定期報告概要

(平成 16 年 9 月 17 日)

平成 16 年 6 月 29 日受理分以降

A 研究報告概要

B 個別症例報告概要

A 研究報告概要

○ 一覧表（感染症種類毎）

研究報告のまとめ方について

- 1 6月1日以降に報告された感染症定期報告に含まれる研究報告（論文等）について、重複している分を除いた報告概要一覧表を作成した。
- 2 一覧表においては、前回の運営委員会での報告したものの以降の研究報告（6月29日報告分から）については番号を太字とし、一覧表の後に当該研究報告の内容を添付した。

感染症定期報告の報告状況(2004/06/01~2004/08/25)

整理番号	受理日	番号	血対番号	感染症(PT)	出典	概要	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
	2004/06/18	40268	040106	A型肝炎	ABC Newsletter 2003.11.14	米国のレストランにおけるA型肝炎集団感染を受けて、血液センターは当該レストランで食事したか田舎の質問項目を追加した。	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分
	2004/06/18	40268	040106	A型肝炎	Journal of Medical Virology 72: 10-16, 2004	HAV感染について、HAVウイルス量、栄化学及び特異的血清学的マーカーの相関について調べた。HAV IgMやHAV抗体とは相関がないが、ALT値のピークと直接的に相関していることが示唆された。	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分
1	2004/07/26	40331	040137	C型肝炎	AABB Weekly Report, 2004: 10(6), 1-2	オーストラリアで、1990年にHCVスクリーニング検査陽性だった数例の献血者に対し、献血停止の措置をとらなかったことについて。	日本製薬株式会社	乾燥人血液凝固第Ⅷ因子複合体	血液凝固第Ⅷ因子複合体	人血液	日本	有効成分
	2004/06/18	40268	040106	G型肝炎	Hepatology. 2003; Vol.38: 156A-818A	長期にわたって原因不明の肝機能が異常の患者100人について、HCV-RNAの複製を示唆するマイナスRNA鎖が84.2%で見られた。	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分
	2004/06/18	40268	040106	C型肝炎炎型肝炎	Hematology Transfusion, 2003, Vol.43(Sep. Supplement), S107-040G	HCVは初期のウィンドウピリオド期間中に、血漿中1~5/50mLのRNAで感染可能である。病原体を除去することがNAT検査が無い場合、安全確保につながる。	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分
	2004/06/18	40268	040106	E型肝炎	Hepatology Research, 27(2003), 169-173	国立感染症研の方による論文。東京及び東京近郊の菓干人を対象にHEV IgG抗体の保有率を調査した。肝障害を有する15.4%にHEV IgG抗体が検出された。	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分
	2004/06/18	40268	040106	HIV感染	AABB weekly report; 10(1) 2004.1.12	日赤のNAT検査導入後初めて、輸血用血液製剤によるHIV感染が確認された。	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分
	2004/06/17	40265	040105	HIV感染	日本感染症学会雑誌 2003; 77(9): 765	日本国内で初めてHIV-2感染症例が遺伝学的に確認された。本症例は韓国内で異性交渉により感染したと推定される。	株式会社ベネシス	ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	人血液	米国	有効成分
2	2004/07/13	40298	040124	アメリカトリパソーマ症(シャーガス病)	AABB Weekly Report 9(43), 3, 2003	シャーガス病のスクリーニング法が開発中で、FDAで承認され次第(2~4年内)、米国赤十字社はすべての血液についてスクリーニング検査を実施する予定である。	株式会社ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	人血液	米国	有効成分
	2004/06/18	40267	040107	アメリカトリパソーマ症(シャーガス病)	Emerging Infectious diseases, 2003, 9(12), 1558-1562	Trypanosoma cruzi感染について、PCR法とIgG抗体検査による検査結果の比較。194人中80人は血清学的検査で陰性であったがPCRで陽性であった。	日本赤十字社	人赤血球濃厚液	人赤血球濃厚液	人血液	日本	有効成分
3	2004/07/27	40346	040139	アメリカトリパソーマ症(シャーガス病)	Emerging Infectious ProMED 20031123-0020 (New York Times, 11/22)	米国外輸血患者が不顕性感染している可能性がある、と専門家が指摘	株式会社ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストラリア	有効成分
	2004/06/17	40265	040105	アメリカトリパソーマ症	AABB Weekly Report 第73回日本製薬年報	ラテンアメリカからの日系職業者のうち、南米の風土病である	株式会社ベネシス	ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	人血液	米国	有効成分

C-感染症定期報告概要リスト

6月一覽

整理番号	受理日	番号	血対番号	感染症(PT)	出典	概要	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
4	2004/07/13	40298	040124	アメリカトリパノソーマ症(シャーガス病)	第73回日本寄生虫学会大会II-C-37	ラテンアメリカからの日系就労者のうち、南米の風土病であるChagas病の疑い例について最近5年間当教室において調査したところ14例中11例がTrypanosoma cruziのIgG抗体が陽性であった。PCR法にてT.cruzi-DNAを検出した例もあった。	株式会社ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	人血液	米国	有効成分
	2004/08/18	40268	040106	インフルエンザ	OIE Alert messages. 2004.1.13	山口県で発生した鳥インフルエンザ集団感染の原因は、亜型H5N1と同定されたが、起源については調査中であり伝播ルートも不明である。	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分
	2004/08/18	40268	040106	インフルエンザ	OIE Alert messages. ProMED-mail 128	タイ及びベトナムで発生したトリインフルエンザ感染症例の原因は、亜型H5N1と同定されたが、起源については調査中であり伝播ルートも不明である。	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分
5	2004/07/13	40298	040124	インフルエンザ	ProMED-mail 1/8, 2004 (The Australian 1/8, 2004)	ベトナムで小児12名が原因不明の呼吸器疾患に罹患、7名が入院中に死亡した。保健当局はその病因からSARSを除外、インフルエンザA型ウイルスであることを示唆した。	株式会社ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	人血液	米国	有効成分
	2004/06/18	40268	040106	インフルエンザ	The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE 2003; 348(19): 1812-20	トリインフルエンザと診断されたベトナムの10症例は、感染鶏から直接感染したと思われるが、遺伝子の混ぜ合わせと人から人感染が起きた可能性がある。	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分
	2004/06/18	40268	040106	インフルエンザ	The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE 2003; 348(19): 1812-20	トリインフルエンザと診断されたベトナムの10症例は、感染鶏から直接感染したと思われるが、遺伝子の混ぜ合わせと人から人感染が起きた可能性がある。	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分
	2004/06/18	40268	040106	インフルエンザ	WHO Weekly Epidemiological Record. 2004; 78(7), 65-70	タイ及びベトナムでのトリインフルエンザ感染症例を中心に検出した。	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分
	2004/06/18	40268	040106	インフルエンザ	WHO Weekly Epidemiological Record. 2004; 78(7), 65-70	タイ及びベトナムでのトリインフルエンザ感染症例を中心に検出した。	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分
6	2004/07/13	40298	040124	インフルエンザ	WHO WPRO/Public Press Release 1/13, 2004	WHOはベトナム・ハノイ地域で発生した3例の高病原性鳥インフルエンザ(H5N1)の診断検査の確定を得た。ベトナムでは合計14例の重症呼吸器疾患患者が検知、うち小児患者11例と成人患者1例の合計12例が死亡したが、今のところ、これらの全てが高病原性鳥インフルエンザである証拠はない。	株式会社ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	人血液	米国	有効成分
	2004/08/17	40265	040105	ウイルス感染	WHO/CSR/disease/2004/1/29	タイ及びベトナムでのトリインフルエンザ患者確定症例	株式会社ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	人血液	米国	有効成分
7	2004/07/13	40298	040124	インフルエンザ	WHO/CSR/disease/2004 1/29	タイ及びベトナムでのトリインフルエンザ患者確定症例	株式会社ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	人血液	米国	有効成分
	2004/08/17	40265	040105	ウイルス感染	Announcements of the National Advisory Committee ' of the German Federal Ministry of Health and Social Security, 2003.10.1	ドイツ連邦保健・社会保障省の国立血液諮問委員会の声明によると、輸血用血液成分製剤及び分画用血漿の出荷基準のうち、ALT値による判定を中止することである。	株式会社ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	人血液	米国	有効成分
8	2004/07/13	40298	040124	ウイルス感染	Announcements of the National Advisory Committee ' of the German Federal Ministry of Health and Social Security, 2003.10.1	ドイツ連邦保健・社会保障省の国立血液諮問委員会の声明によると、輸血用血液成分製剤及び分画用血漿の出荷基準のうち、ALT値による判定を中止することである。	株式会社ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	人血液	米国	有効成分
	2004/06/17	40265	040105	ウイルス感染	European Commission/ Public/ Health/ 16 Oct. 2003	筋動物媒介感染症(WNVを含む)が輸血用血液と移植用臓器に及ぼす影響について、EU医薬品・医療用具科学委員会の意見について、EU外からの入国後4週間の献血延期、WNVやアルボウイルス感染の疫学データを収集する必要がある。	株式会社ベネシス	ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	人血液	米国	有効成分

C-感染症定期報告概要リスト

6月一覽

整理番号	受理日	番号	血対番号	感染症(PT)	出典	概要	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
9	2004/07/13	40298	040124	ウイルス感染	European Commission Public Health & Risk Assessment, C7/SANCO/SCMPM D/2003/00025 final D(03)	EUにおける、輸血及び移植に使用される血液の安全性に関連した筋足動物媒介感染症(WNVを含む)の脅威についての医薬品・医療用具科学委員会の意見。脅威を除くためには、ドナー問診、不活化技術の導入、NAT等スクリーニング技術の導入等が考えられる。	株式会社ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	人血液	米国	有効成分
	2004/06/18	40268	040106	ウエストナイルウイルス	AABB, 2004 Spring, the Executive perspective	WNVは年間を通じて感染の可能性があるため、多くの採血施設(米国)は年間を通じてテストを行うことを決めた。	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分
	2004/06/18	40268	040106	ウエストナイルウイルス	ABC Newsletter 2004.1.30	アイルランド輸血サービスは、年間を通じて米国、カナダ、メキシコからの帰国者について4週間の採血延期措置を決定した。	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分
10	2004/07/26	40331	040137	ウエストナイルウイルス感染	CDC MMWR, 53(13); 281-284, 2004.4.9	輸血後WNV感染が認められたことについて、WNV感染者の80%は無症候であり、低濃度の場合はNATスクリーニングをすり抜ける可能性がある。	日本製薬株式会社	乾燥人血液凝固第Ⅲ因子複合体	血液凝固第Ⅲ因子複合体	人血液	日本	有効成分
	2004/06/18	40267	040107	エールリッヒア症	Transfusion, 2003, Vol.43 (9s), SP8	米国でAnaplasma phagocytophilumによる輸血後感染(疑い)症例が過去に1例あった。コネティカット州の2001年2002年の抗体陽性率が1996年とほぼ同程度であった。	日本赤十字社	人赤血球濃厚液	人赤血球濃厚液	人血液	日本	有効成分
	2004/06/18	40268	040106	ニバ様ウイルス	Slence Vol303 2004.02.20	バングラデシュで起きたニバ(様)ウイルス感染の流行について、今回の流行で始めてウイルス分離ができたので、CDCがニバかどうか判別するだろう。治療法は無く、ワクチンは開発段階にある。	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分
	2004/06/18	40268	040108	サル痘	The pediatric Infectious Disease Journal, Vol.22, No.12 Dec 2003: 1093-6	サル痘(天然痘に似ているがより軽症)に感染した小児の事例について、アフリカから米国へ輸入された小型哺乳類からイヌに感染し、さらに小児へ感染した。アフリカでの前例2例と同様の所見であった。	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分
	2004/06/18	40268	040106	SENウイルス	Virus Research 100(2004) 223-228	小児におけるSENウイルスの感染についてケースコントロールスタディを行った。SENV-D、SENV-Hとも急性・慢性肝炎には関与しなかったが、SENV-Dは劇症肝炎の危険因子となる可能性がある。	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分
11	2004/07/13	40298	040124	クワイツフェルト・ヤコブ病	Afsaps/oommunique de press 2004/2/1	輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が確認されたことを受けて、フランス保健製衛生安全庁が血液及びその二次製品を介したTSE因子の感染リスクに対して現時点では修正の必要はないとの暫定的声明を出した。	株式会社ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	人血液	米国	有効成分